



秋のふれあいレク



吉田光延 画

発行  
 社会福祉法人いわき福音協会  
 はまなす 荘  
 いわき市平中平窪字二堂田2  
 〒970-8002 ☎(0246)☎8711  
 編集責任  
 はまなす荘新聞編集委員会

新型コロナウイルス感染症が春に五類になったとはいえども、まだまだ感染の恐れがなくなっただけではありません。感染対策に油断は禁物と気を張っている日々ですが、空には鱗雲を見たり、朝晩の空気に少しずつ秋の気配を感じられたりするようになりました。利用者の皆さんも元気に過ごしています。



### 日々是好日

所長：羽賀典子

秋と言えば、スポーツ、美味しいものや旅行など胸躍らせる季節です。施設でも四年ぶりに保護者やボランティアも参加しての秋のふれあいレクリエーションを開催し、久しぶりに身体を動かすことができました。また、秋の恒例であったグループ旅行も、日帰り班や一泊班に分かれて、利用者と一緒に計画を立て実施しているところです。皆さん、普段の生活ではみせない明るい表情で、笑顔で参加しています。

新型コロナ感染症が春に五類になったとはいえども、まだまだ感染の恐れがなくなっただけではありません。感染対策に油断は禁物と気を張っている日々ですが、空には鱗雲を見たり、朝晩の空気に少しずつ秋の気配を感じられたりするようになりました。利用者の皆さんも元気に過ごしています。



### 南限の花

ストレスとの付き合い方について皆さんはどのような事をしていらっしゃるか。

私はストレスコントロールが苦手で、知人に勧められて一人カラオケに行ってみたり、ジムに通ってみたりしてみたらピンとくるものがあった。

しかし、最近誘われて釣りを始めてみたらこれがとても自分に合っていた。魚が釣れる、釣れないに関係なく釣り糸を垂らしてぼーっとしている時間がとても心地よかった。最近は何もない休日には、ぶらっと釣りに行って一人の時間を楽しんでる。この時間が自分にとってのストレス発散になっており、仕事やプライベートを充実させるための活力を充電する大事な時間になっている。ストレスは生活に張りを持たせるために必要な要素だと思う。

溜め過ぎず、うまく付き合っていければと思う。

### 自治会役員改選選挙

五月十一日(木)令和五年度自治会役員改選が行われました。

今年度は、会長一名、副会長二名、書記一名の立候補がありました。投票の結果、会長には昨年度の接戦で惜しくも次点となった清水智恵美さんが返り咲きました。副会長には、八巻隆さんと伊藤しのぶさんが、書記は青木清さんが選ばれました。今回立候補された皆様は過去何度も役員に選ばれていただけあってとても自信に満ち溢れていました。立会演説でも立候補者一人ひとりが自身の思いをぶつけており、その結果が今回の当選に繋がったのだと思います。今回の選挙を通して、やはり自らが率先して何かをしたい、選ばれたいという意欲はとても素晴らしい事だと感じます。また、今回立候補されなかった方も自分の意思で投票を行うという行為が大切であるという事を改めて感じさせられました。



### 春のふれあいレクリエーション

六月十五日(木)にみはま体育館にて春のふれあいレクリエーションが行われました。新型コロナウイルスが五類に移行した事により、今年度はボランティアさんが参加する事が出来ました。数年ぶりに外部と交流出来、利用者、職員共に気合が入り、競技中はみなさん一生懸命走ったり、応援したりして盛り上がっていました。種目は「ミュージックケア」「○さんお借りします競争」「玉入れ」の三種目を行い、皆さんの協力もあり、大盛況のうち無事終えることが出来ました。

新型コロナウイルスが五類に移行した後でも、ウイルスが無くなったわけでありません。引き続き感染対策をしつつ、利用者様が安心・安全に生活出来るように支援していきたいと思えます。



### 夏祭り

七月二十七日(木)、食堂にて、はまなす荘夏祭りが今年度も行われました。

今回、お好み焼きや焼き鳥、アイスクリームやかき氷等、夏を感じて頂ける屋台の他にくじ引き、エアバット、うちわなどの出し物を提供しました。食べ物の屋台は開始直ぐに行列ができるほどの好評で利用者の皆さんは食事をもっと楽しんでる様子でした。また、くじ引きやエアバットなどはキャラ物を二種類用意し、それぞれ好みのもので利用者に選んでいただき提供しました。皆様気に入っている様子が見られてよかったです。また、毎年恒例である花火も行いました。

夏祭りを終えると夏が終わってしまうような寂しい気持ちになりますが、来年の開催まで楽しみに待ち望んでいます。

### 暑気払いを振り返って...

例年にも勝る、厳しい暑さが続いた八月。暑さや暑さによって溜まった疲労を払うべく、暑気払いが開催されました。今年度も感染症対策により、食堂にて開催されました。自治会長、所長の挨拶から始まり、少しでも涼しい気持ちになってもらうべく、旬のフルーツを使ったゼリーをみんなで食べました。その後は、多くの利用者が楽しみにしていた、はまなす荘紅白歌合戦!元氣な歌声を響かせ合

い、中には、利用者からのご指名が入った職員もおとり、デュエット曲を披露した組もありました。お手製のうちわを振り、拍手で会場が沸いたり、大いに盛り上がりました。結果は……白組の勝利!昼食では、彩り豊かな手毬寿司のお弁当を頂きました。来年こそは、もっと大きな会場で開催できますように……☆



### いわきの町をきれいにする運動

令和5年度秋のいわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動を10月11日(水)に行いました。

皆の利用する施設を綺麗にする為、利用者さんと職員で草むしりをする人、ゴミ袋に草を入れる人、ゴミ袋を集積場所まで運ぶ人と役割を分担し、協力し合っ

て荘内と荘周りを綺麗にすることが出来ました。当日は快晴で日差しも強く、熱中症の心配もありましたが、体調を崩す人や途中で投げ出す人もなく、皆さん楽しく活動出来ました。

最後は皆でジュースを飲み作業を終了しました。お疲れ様でした。



### さきおり展示・即売会

令和五年度のさきおり展示・即売会が九月二十九日(金)と三十日(土)に行われました。

令和元年度の開催以来、コロナ禍の中では開催することが難しい状況が続いていましたが、感染状況も徐々に落ち着いてきたことから、久々に開催することができました。久々の開催ではありましたが、さきおりに参加している利用者の頑張りと保護者の協力もあり、たくさんさき織り作品を作り上げる事が出来ました。

また、この展示会を開催するにあたり、たくさん生地やお手製の作品を寄贈して頂いた方々の協力もあり、二日間五十名を越えるお客様に会場頂き、大盛況に終える事ができました。この場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

さきおり展示・即売会は今後、二年に一度、実施していく予定です。作品作りに必要となる着物

や浴衣の寄付と一緒に作品作りを行って頂けるボランティアの方も随時募集しております。使用しない着物や浴衣をお持ちの方や少しでもさきおりに興味のある方は、はまなす荘までご連絡頂ければと思います。



### 秋のふれあいレクリエーション

十月四日(水)にみはま体育館にて秋のふれあいレクリエーションが行われました。コロナが五類となり、数年ぶりに保護者にも参加して頂くことが出来ました。二十名の保護者と八名のボランティアの方の協力もあり、とても楽しい時間を過ごす事が出来ました。サークルふれあいの中山さんによる簡単なゲームとミュージックケアから始まり、借り物競争・玉入れの競技を行いました。久しぶりの保護者・ボランティアとの参加となり、とても賑やかで笑顔溢れるレクリエーションとなりました。

### グループ旅行

#### 1班(一泊)

十月二十三日(月)、二十四日(火)に一泊班のグループ旅行が実施されました。一日目は、いなわしろカワセ水族館にて綺麗な色の水鳥やあまり見た事のない川の中の生きものを見学、昼食はラーメン館で美味しいラーメンを楽しみました。その後の磐梯吾妻スカイラインでは車中からの紅葉狩りで秋の素晴らしい景色を見る事ができました。宿は飯坂温泉で美味しい食事と温泉でリラックサス、して、ビンゴゲームは全員で盛り上がりました。二日目は道の駅福島で家族や自分へのお土産を買い、秋晴れの下四季の里公園を散策、岩城屋敷大王での昼食を楽しみ帰路につきました。



#### 1班(日帰り)

九月二十八日(木)に四年ぶりとなるグループ旅行が行われました。公用車を使用し、いわき市内のアクアマリンふくしまを見学、正月で美味しい食事を食べ、道の駅でお土産を購入するというプランで観光を行いました。久しぶりの旅行であったので利用者も非常に楽しみにしており、準備したプランで喜んでくれるか職員の方では不安がある中で当日を迎えました。当日抱えていた不安とは裏腹に利用者の方はいつもとは違うところに行けるといってもあり、道中からわくわくと楽しそうにしている様子うかがえました。アクアマリンでは職員とコミュニケーションを取りながら楽しんで鑑賞をしていました。正月荘ではおいしい料理を提供していただき、終始笑顔が絶えない楽しいグループ旅行を行いました。来年も楽しんでいただける旅行を企画していきたいと思っております。



#### 2班(日帰り)

十月十九日(木)に男子利用者四名、女子利用者二名、職員五名にてグループ旅行日帰り二班を実施しました。今回は茨城県日立市にある「国営ひたち海浜公園」に向かいました。四年ぶりのグループ旅行であった為利用者は勿論、職員もとても楽しみな中での実施となりました。公園ではコキアの紅葉が見頃な時期であり、景色を楽しみながら散策をしていきました。道中様々なお店が並んでおり、ソフトクリームを食べたり、メロンソーシーなど普段食べないようなものも美味しく口に飲んだり、利用者一同とても旅行を楽しんでいる様子が見受けられました。新型コロナウイルスもだいぶ落ち着いてきていますが感染に十分注意しながら、また来年もグループ旅行が行えることを祈っております。



### 普通救命 普及講習

六月二十三日(金)に、今年度一回目となる普通救命普及講習を実施しました。

胸骨圧迫等の手技からなる心肺蘇生法や、AEDの使用方法の確認と実技を、人形の機材を使って行いました。心肺蘇生法やAEDを使った手当を救急車が到着するまでの間行わなくてはならないので、そのことを頭の中に入れてながら取り組んでいました。いつ、どの場面でもそのような出来事が起こるかは分からないので、焦らずに行わなくてはなりません。講習を通して、何度も繰り返し練習・確認しても安心できるものではありません。どんな時でも焦らず落ち着いて対応できるよう、日頃からイメージしておくと



ことも大切なことだと思います。

今後も定期的に講習を実施していきたいと思えます。

### 福音フェスティバル

十月三日(火)から八日の期間に、エリコにて福音フェスティバルが開催されました。福音フェスティバルでは、各事業所ごとに、ハロウィンにちなんだ展示物を作成し、来場者の方にとの作品が良かったか投票して頂くイベントも行われました。

はまなす荘では、おぼけやかぼちゃのぬりえを利用者に思い思いに塗ってもらい、切り取ったぬりえをかぼちゃの型に貼り付けた作品を作製しました。また、光る電球のおもちゃを使用し、ハロウィンらしい明るい作品も作製しました。

結果として、一位や二位は逃してしまいましたが『キラキラおぼけ大集合で賞』を受賞する事ができました。職員

### 医務より

コロナワクチン六回目接種は、現在はまだ

す荘の利用者四十名中・三十三名が済んでおり、職員に至っては三十二名中一割ほどが接種済み、四回目まではほぼ百パーセントの接種率でしたが、罹患者同等の副反応がみられた職員が多数おり、それ以降の接種については、職員個人の判断としました。その中で十三名は、五回目まで接種が済んでいる状況です。

現時点で職員は六割、利用者は男子一名除き全員、女子四分の一ほどが罹患した発生状況です。中には二回罹患した人もいました。

夏からすでにインフルエンザも流行しており、感染予防対策に気が抜けない状況が続きます。

と利用者が一丸となって作り上げた作品に素敵な賞をもらい、大満足となりました。

### New Face 職員紹介 Introduction

①名前 ②職種 ③趣味・特技 ④抱負



- ① 佐藤裕子
- ② 支援員補助
- ③ ハンドメイド制作、韓国下フマ鑑賞
- ④ 日々の細かい変化に気づき、快適に過ごせるよう支援していきたいと思えますので、よろしく願います。

### カレンダー制作

毎年恒例のはまなす荘のカレンダー、例年は作業班「さくら班」で作成していましたが、今年は「ひまわり班」も加わって一緒に作製することになりました。そこで、今回は普段の日中活動の一場面にスポットを当ててみました。個別で行っているそれぞれの作業やクラブ活動など、日常を題材にしてみましたので、どうぞご覧下さい。



### 表彰

福島県社会福祉大会  
知事感謝状授与者

栗村 嘉起  
会長表彰 萩原 育子

### 編集後記

肌寒い季節となってきます。体調管理に気を付けながら、残り少ない今年を悔いの残らないよう過ごしていきたいですね。